

インターバンクの声（2016 年 10 月 18 日）

週明けの海外市場は、このところのドル堅調地合いの背景にあった欧米株価、原油価格が下落、米国債利回りの低下もあって、ドルに対する利食い売りが出やすい一日となった。それでもドル円の下げは 103 円台後半までで、ユーロ/ドルも 1.09ドル台後半から 1.10ドル台に乗せた程度のドル下落に留まった。ニューヨーク市場の朝方に発表された 10 月のニューヨーク連銀製造業景況指数が予想に反して前月のマイナス幅を拡大させたが、9 月の鉱工業生産や設備稼働率は予想に近い結果となったことで、指標による相場への影響は少なかった。また、フィッシャー米連邦準備制度理事会 (FRB) 副議長が講演で低金利の持続に強い懸念を示したが、イエレン議長が週末に金融緩和の継続を容認するかのような発言をしていたこともあって市場も反応しがたかったようだ。今週はこの後も米国や中国の経済指標の発表が続くが、本格化する米企業決算発表から企業業績の伸びを確認できれば再びドルの反発もありそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。